

第9回一関地区広域行政組合一般廃棄物最終処分場整備候補地選定委員会会議録

- 1 会議名 第9回一関地区広域行政組合一般廃棄物最終処分場整備候補地選定委員会
- 2 開催日時 令和元年10月15日（水）午前10時5分から午前11時55分まで
- 3 開催場所 いわて県民情報交流センターアイーナ研修室811
- 4 出席者
 - (1) 委員 中澤廣委員長、千葉啓子副委員長、東淳樹委員、大河原正文委員
平塚明委員、山本博委員
欠席委員 颯田尚哉委員
 - (2) 事務局 村上秀昭事務局長、小野寺啓総務管理課長、
吉田健総務管理課長補佐兼施設整備係長、中村謙介総務管理課主査
株式会社日産技術コンサルタント（2名）

5 議 事

- (1) 第3次選定候補地について
- (2) 候補地選定委員会報告書について

6 公開、非公開の別 非公開

7 あいさつ

委員の皆様には日頃から整備候補地の選定にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

本日は、現地調査による評価の集計結果について、お示しする。第3次選定で3か所から5か所程度の候補地を選定いただくこととしているので、本日の委員会で決定いただければと思っている。また、これまでの選定状況をまとめた報告書の案についてもお示しするので、併せて協議をお願いします。

委員の皆様には率直なご意見をお願いします。

8 協議内容

- (1) 第3次選定候補地について

会議資料協議1により事務局から説明を行った。

以下、委員からの質問など

委員長 整備候補地を選定について、事務局から提案があればお願いします。

事務局 第3次選定では3から5か所程度の候補地を選定することから、第3次選定相対評価結果の上位から3か所、No.276、No.159、No.512での選定を提案する。

委員長 事務局の提案と合わせ、評価結果の内容について協議をお願いします。

まず、最高評価となったNo.276について、ご意見ご質問をお願いします。

ここは情報提供のあった候補地になるが、新たな情報はるか。

事務局 新たな情報は特にない。

委員長 次にNo.159について、ご意見ご質問をお願いします。

委員からは、取付道路の整備コストが大きいと思われるとのコメントがあるが、この辺りについて事務局からあればお願いします。

事務局 当該候補地までの取付道路の整備は、かなりの距離を要すると考えているが、頻繁に車両が通行するところではないので、全区間を2車線の舗装道路にするまでの整備は不要と考えている。

また、候補地となった土地の大部分が一関市の市有地ということもあり、用地取得に係る費用が小さいという利点もある。

委員 現地の地形などからすると、台風が来ると非常に水が集まる地形である。

取付道路の整備では相当な切り土が想定され、切った斜面の風化が進んでいる場合、アンカーを打つ必要があり非常にコストがかかる。

昨今の単位時間雨量などが大きくなっている状況からすると、防災的な側面からすればあまり好ましくない。水が流れると、山側から流れてきた水や土砂などが道路を谷側に流してしまうような場所が、途中で多々あり得るような地形をしている。

委員 No.159は、委員が現地調査をした上で評価した評価②ではマイナス1.8となっており評価が低い。ここが第3次選定相対評価結果で2位だから残すということに議論の余地がある。

評価②では各委員の専門分野が違うため、評価がプラス側とマイナス側に分かれるのはしょうがないが、結果としてマイナスの評価になるところを候補地として残すことに違和感がある。この評価②で評点が低いという点から考え、候補地から除いてもいいのではないか。

事務局 第2次選定の比較評価では、No.159は全ての評価項目で高い評価になっており、市有地であることだけで高評価になっているものではない。

委員長 候補地として最適ではないとの意見があるが、選定方法、評価方法を決めた上での評価結果になるので、上位にあるNo.159を除くというのは今までの協議結果に反する。

No.159を候補地から除くという考えのほかに、第3次選定候補地を3か所ではなく4か所にするという考えもできる。この点については後ほど協議することとしたい。

次にNo.512について、ご意見ご質問をお願いします。

委員 No.512はNo.510と一体として整備場所とするような内容で評価したというコメントがあるが、そのような評価の考えは適当か

事務局 評価上に問題はないと考える。

委員長 ここまでで事務局提案の候補地3か所についての協議を行ったが、いろいろ課題があるので、第3次選定候補地を4か所とするかも含め、ご意見等をお願いする。

委員 評価の方法としては、第2次選定の比較評価、第3次選定の評価①、評価②の合計で順位を付けているが、評価②における各委員の評価に大きくばらつきがあることが判断を難しくさせている。

現地調査をした8か所について、第3次評価の評価①と評価②の合計で考えた場合、1位がNo.276で5点、2位がNo.562の3点、3位が512の2.7点になる。

協議資料1の評価結果表では4位のNo.562だが、委員の評価である第3次選定に重きを置き、候補地として残した方がいい。

委員長 No.562も候補地として残すという提案だが、ほかにも何かあればお願いする。

委員 私は、自分の専門分野の視点から低評価とした候補地は多くあるが、ここだけはやめてほしいという所はない。しかし、No.159に対して評価できないとしている委員もいる。

基準を決めた上で機械的に進めてきたとしても、一人の委員あるいは何人かの委員がここだけという意見が出ていることは無視すべきではなく、ある程度反映させないと、委員会の意味がない。

委員会としては候補地を4か所にすることに関して躊躇すべきではない。

委員長 論点を整理するが、一つは第3次選定候補地を3か所にするか4か所にするかということ、もう一つはNo.159を候補地とするかということになる。

委員 No.159は、評価結果が2位となっているので、候補地として残すことに異論はないが、3か所から5か所の候補地を選定するとしているところを3か所に固執する必要はない。

満場一致で3か所とするとなればいいと思うが、このNo.159に関しては心配が大きく、ほかの委員の意見もあるので、安全を取り第3次選定相対評価結果の4位も候補地としたほうがいいと思う。

委員長 第3次選定候補地を3か所から4か所にすることにより、今後の事務に影響するのは、説明会などの回数や要する時間の増以外に何かあるか。

事務局 特にない。

委員長 委員会としての合意で候補地を選定するという点からすると、複数の委員か

ら4か所にすべきとの意見も出ているので、4か所を第3次選定候補地として残すべきという考えだがどうか。

ご意見がなければ、事務局提案にNo.562を加え4か所を第3次選定候補地とするということではいかがか。

委員 <意見等なし>

委員長 それでは、第3次選定候補地として第3次選定相対評価結果上位4か所を選定する。

続いて(2)候補地選定委員会報告書について、事務局から説明をお願いします。

(2) 候補地選定委員会報告書について

会議資料協議2により事務局から説明を行った。

事務局 報告書(案)の記載内容などについて、加除や修正をすべき点があればご意見をいただきたい。また、「おわりに」の部分で候補地への付帯事項などを記載していきたいので、これについてもご意見ををお願いします。

以下、委員からの質問など

委員長 17ページ①第3次選定条件の説明の文章に記載のある評価②についてももう少し明確に説明するべきではないか。評価①と評価②では何が違うかといことを、ここで明確にしたほうが分かりやすいと思う。

また、「おわりに」の付帯意見としては、できるだけ最終処分場の最終処分量の低減に努めて寿命を延ばすような取り組みをしてほしいということを書いていただきたい。

事務局 了解した。いただいた意見により修正する。

委員長 報告書の調整について、今後の予定はどのように考えているのか。

事務局 各委員からの意見を10月17日までにいただき、まとめたものを委員長に確認いただく。

委員長に確認いただいた報告書を、組合の管理者に選定結果として報告する。報道発表や議会への説明についても、この報告書で行いたいと考えている。

最終的な報告書は、今週末に各委員にメールで送らせていただきたい。

委員長 今後のスケジュールとしては、最終のまとめは事務局と私のほうに一任いただくということではよろしいか。

委員 <意見等なし>

委員長 それでは、報告書の取りまとめは事務局の提案のとおり進める。

9 担当課 総務管理課